

株 主 各 位

東京都渋谷区東三丁目9番19号
トレンダーズ株式会社
代表取締役社長 経沢 香保子
(戸籍名：岡本 香保子)

第13回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

さて、当社第13回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申しあげます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成25年6月25日（火曜日）午後6時までには到着するようご返送くださいますようお願い申しあげます。

敬 具

記

- | | |
|-----------------|------------------------------------------------|
| 1. 日 時 | 平成25年6月26日（水曜日）午後2時 |
| 2. 場 所 | 東京都目黒区下目黒一丁目8番1号
目黒雅叙園 4階『孔雀』 |
| 3. 目的事項
報告事項 | 第13期（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）事業報告及び計算書類の内容報告の件 |

決 議 事 項

議案 取締役5名選任の件

以 上

~~~~~  
◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付へご提出くださいますようお願い申しあげます。

◎株主総会参考書類、事業報告及び計算書類に修正すべき事情が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（<http://www.trenders.co.jp/ir>）において、修正後の事項を掲載させていただきます。

## (添付書類)

# 事業報告

(平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで)

## 1. 会社の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当事業年度におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要等を背景とした緩やかな回復の動きが見られ、また政権交代後の経済政策に対する期待感から円安基調に転換し、株価の回復も見られるものの、欧米での財政不安の長期化及び新興国の成長鈍化等が懸念され、景気の先行きは依然として不透明感が拭えない状況で推移いたしました。

広告業界におきましては、平成24年の総広告費が5兆8,913億円（前年比103.2%）と5年ぶりに前年実績を上回る結果となり、特にインターネット広告費は前年比107.7%と成長を続けております（株式会社電通「2012年日本の広告費」）。

このような状況のもと、ソーシャルメディアマーケティング事業においては、従来より自社母集団であるwomediaを通じて、「Webメディア」及び「マスメディア」をワンストップで連動させることで競合他社や大手代理店との差別化を図ってまいりました。

当事業年度は、引き続き大手顧客企業を中心とした新規開拓やリピート率の向上といった営業戦略の強化に注力するとともに、新サービスとして、平成24年4月にはソーシャルプレゼントサイト「Amaze（アメイズ）」サービスを、平成24年7月にはスマートフォン向けプロモーションアプリ「キニナルモン」サービスをそれぞれ開始し、新たな収益源の確保を図ってまいりました。また、平成24年10月19日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したことによる知名度向上を生かし、顧客基盤の拡大に努めてまいりました。

メディア事業におきましては、今後伸長が見込まれる市場である美容医療分野における啓蒙活動段階と位置づけ、ポータルサイト「キレナビ」の利便性向上及びプロモーションに取り組むほか、平成24年10月よりドクターコスメ（美容クリニックのオリジナル化粧品）の販売を開始いたしました。

これらの結果、当期の売上高は1,616,490千円（前期比35.2%増）、営業利益は404,146千円（前期比45.2%増）、経常利益は395,498千円（前期比41.5%増）、当期純利益は248,948千円（前期比60.4%増）となりました。

主な事業部門についての営業の概況は下記のとおりです。

| 事業別                | 売上高         | 構成比   | 対前期比   |
|--------------------|-------------|-------|--------|
| ソーシャルメディアマーケティング事業 | 1,584,109千円 | 98.0% | 133.2% |
| メディア事業             | 32,381      | 2.0   | 478.6  |
| 合計                 | 1,616,490   | 100.0 | 135.2  |

## (2) 設備投資の状況

当事業年度において実施いたしました設備投資等の総額は31,514千円であり、その主なものは、ソーシャルメディアマーケティング事業の新規システム開発に伴うソフトウェア取得14,982千円、メディア事業の追加システム開発に伴うソフトウェア取得7,635千円、受注管理システム開発に伴うソフトウェア取得5,742千円であります。

## (3) 資金調達の状況

当社は、平成24年10月19日に東京証券取引所マザーズに上場し、公募増資により、総額633,420千円の資金調達を行いました。

## (4) 対処すべき課題

当社は設立以来、ソーシャルメディアを活用したマーケティングを中心に事業を行っており、近年においては新規事業としてメディア事業に取り組んでまいりました。今後につきましては、事業方針として、ソーシャルメディアマーケティング事業の規模拡大、及びメディア事業展開による新たな収益源の構築が重要であると認識しております。

当社は、上記の内容を踏まえ以下の点に取り組んでまいります。

## (7) ソーシャルメディアマーケティング事業に対する課題

### ① 新サービスの開発

当社の主要事業であるソーシャルメディアマーケティング事業は、自社メディア「womedia」とマスメディア、Webメディアとの連動に強みをおいておりますが、クライアントも新しいプロモーション手法を求めており、常にクライアントのニーズにあった新しいサービスを提供し続けていく必要があります。

当事業年度におきましては、ソーシャルキャンペーンサイト「Amaze（アメイズ）」及びスマートフォン向けプロモーションアプリ「キニナルモン」サービスを開始いたしました。

今後も、当社が持つマーケティング技術、サービス開発力を活かして、競争力・収益率の高いサービスを改善しつつ、新サービスを定期的に取り入れ、拡販を進めることで収益基盤の強化を図ってまいります。

### ② 大手クライアント数の拡大

当社の高い成長性を維持するためには、定期的取引が発生する大手クライアント数の拡大が急務だと考えております。

今後は、主要大手クライアント数増加を最重要営業戦略と位置付け、引き続き大手クライアントとの接点を増やしていくほか、総合広告代理店とのリレーション強化により、収益機会のさらなる拡大を図ってまいります。

## (4) メディア事業の課題

「キレナビ」に関しましては、会員数の増加に加え、無料会員による購入を促進する取り組みが重要課題であると認識しております。

当事業年度におきましては、従来の施術クーポンに加え、ドクターコスメの取扱いを開始いたしました。

引き続き「キレナビ」ブランドの知名度向上及びサイトのユーザビリティ向上に努めるほか、多数の会員を有する他社メディアとの提携を模索し、収益機会の拡大を図ってまいります。

また、女性の「美」を支援する「キレナビ」に加え、女性の新しいライフスタイルを提案する新サービスの開発に取り組んでまいります。

(ウ) 人材獲得及び育成

① 獲得

当社が今後事業をさらに拡大し、成長を続けていくうえで、必要な人材を十分に確保していくことが重要であると考えており、ソーシャルメディアとWebメディアを活用した採用を行っております。当社の主要事業領域であるソーシャルメディアと親和性が高い新卒の採用に注力するとともに、高い専門性を有する人材及び管理職層の獲得のため中途採用にも取り組んでおります。

今後も優秀な人材を恒常的に確保出来るよう一層努めてまいります。

② 育成

人材育成に関しましては、早期かつ恒常的な戦力化を図るため、教育研修制度の拡充、外部ノウハウの活用などにも積極的に取り組んでまいります。

また、ベンチャー企業である当社の成長と活性化に貢献する社員を対象に抜擢人事を行っており、将来の経営層を担う人材の育成に努めてまいります。

(エ) 内部管理体制（小規模組織）

当社は、平成25年3月31日現在、社員74名と小規模組織であり、内部管理体制もこのような規模に応じたものになっております。業務拡大に合わせ内部管理体制の充実を図ることが重要課題であると認識しており、今後、人材の育成、人員の増強及び内部管理体制の一層の充実を図ってまいります。

(オ) 情報管理

当社は自社の会員を保有しており、取り扱う個人情報に関しては、個人情報保護法の対象となります。また、業務の性質上、クライアントの機密情報も扱っており、情報の管理には万全を期した体制を構築しております。今後も引き続き情報管理体制の強化を図ってまいります。

### (5) 財産及び損益の状況の推移

| 区 分           | 第10期<br>(平成22年3月期) | 第11期<br>(平成23年3月期) | 第12期<br>(平成24年3月期) | 第13期<br>(当事業年度)<br>(平成25年3月期) |
|---------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------------------|
| 売上高(千円)       | 461,064            | 728,483            | 1,195,976          | 1,616,490                     |
| 経常利益(千円)      | 46,201             | 170,737            | 279,490            | 395,498                       |
| 当期純利益(千円)     | 45,911             | 109,525            | 155,183            | 248,948                       |
| 1株当たり当期純利益(円) | 11,406.70          | 25,601.92          | 33,553.12          | 82.46                         |
| 総資産(千円)       | 332,150            | 597,252            | 898,979            | 1,771,313                     |
| 純資産(千円)       | 256,605            | 426,130            | 581,313            | 1,463,681                     |
| 1株当たり純資産額(円)  | 63,752.84          | 92,136.25          | 125,689.37         | 441.53                        |

(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により、1株当たり純資産額は期末発行済株式数により算出しております。

2. 当社は、平成24年6月15日付で普通株式1株につき300株の割合で、また平成25年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、当事業年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。なお、過年度に当該株式分割が行われたと仮定して遡及修正を行った場合の1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額は以下のとおりです。

| 区 分           | 第10期<br>(平成22年3月期) | 第11期<br>(平成23年3月期) | 第12期<br>(平成24年3月期) |
|---------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1株当たり当期純利益(円) | 19.01              | 42.67              | 55.92              |
| 1株当たり純資産額(円)  | 106.25             | 153.56             | 209.48             |

### (6) 重要な親会社及び子会社の状況

該当事項はありません。

### (7) 主要な事業内容 (平成25年3月31日現在)

| 事業                 | 主要な事業内容                                                                               |
|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| ソーシャルメディアマーケティング事業 | ソーシャルメディアを活用した企業のマーケティング・プロモーション支援                                                    |
| メディア事業             | 美容クリニックポータルサイト「キレナビ」<br>( <a href="http://kirei-c.com/">http://kirei-c.com/</a> ) の運営 |

(8) 主要な営業所（平成25年3月31日現在）

本店 東京都渋谷区東三丁目9番19号

(9) 使用人の状況（平成25年3月31日現在）

| 従業員数 | 前期末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|------|--------|-------|--------|
| 74名  | 16名増   | 29.0歳 | 2.5年   |

(注) 従業員数は、就業人員であります。

(10) 主要な借入先（平成25年3月31日現在）

該当事項はありません。

2. 会社の株式に関する事項（平成25年3月31日現在）

- (1) 発行可能株式総数 10,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 3,315,000株
- (3) 株主数 1,610名
- (4) 大株主（上位10名）

| 株主名                                      | 持株数      | 持株比率   |
|------------------------------------------|----------|--------|
| 岡本香保子                                    | 907,000株 | 27.36% |
| 岡本伊久男                                    | 670,600  | 20.23  |
| 株式会社サイバーエージェント                           | 227,200  | 6.85   |
| 松本洋介                                     | 144,000  | 4.34   |
| RIP2号R&D投資組合                             | 116,800  | 3.52   |
| 高村彰典                                     | 100,200  | 3.02   |
| MSIP CLIENT SECURITIES                   | 83,700   | 2.52   |
| 郭翔愛                                      | 48,000   | 1.45   |
| 大西香織                                     | 36,000   | 1.09   |
| CACEIS BANK DEUTSCHLAND-CUSTOMER ACCOUNT | 30,400   | 0.92   |

### 3. 会社の新株予約権等に関する事項

#### (1) 当事業年度末日における新株予約権の状況

- ・新株予約権の数  
1,060個
- ・新株予約権の目的となる株式の種類及び数  
普通株式636,000株（新株予約権1個につき600個）
- ・取締役、その他の役員の保有する新株予約権の区分別合計

|     | 回 次<br>(1株当たりの<br>行使価額) | 行 使 期 間                    | 個 数  | 保有者数 |
|-----|-------------------------|----------------------------|------|------|
| 取締役 | 第2回<br>(167円)           | 平成25年5月1日<br>～平成33年4月27日   | 520個 | 4名   |
|     | 第3回<br>(334円)           | 平成26年4月1日～<br>～平成33年12月31日 | 25個  | 1名   |
| 監査役 | 第2回<br>(167円)           | 平成25年5月1日<br>～平成33年4月27日   | 10個  | 1名   |

- (注) 1. 社外取締役はおりません。  
2. 監査役が保有している新株予約権は使用人として在籍中に付与されたものです。

#### (2) 当事業年度中に交付した新株予約権の状況

該当事項はありません。



## 4. 会社役員に関する事項

### (1) 取締役及び監査役（平成25年3月31日現在）

| 地 位       | 氏 名                       | 担当及び重要な兼職の状況                                                         |
|-----------|---------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長   | 経 沢 香 保 子<br>(戸籍名：岡本 香保子) | －                                                                    |
| 取 締 役     | 岡 本 伊 久 男                 | クリエイティブグループ担当                                                        |
| 取 締 役     | 松 本 洋 介                   | ソリューショングループ担当                                                        |
| 取 締 役     | 郭 翔 愛                     | 経営管理グループ担当                                                           |
| 取 締 役     | 影 山 由 美 子                 | WEB開発セクション担当                                                         |
| 常 勤 監 査 役 | 三 浦 玲 奈                   | －                                                                    |
| 監 査 役     | 都 賢 治                     | 税理士<br>㈱アルタス代表取締役<br>㈱グロービス取締役<br>㈱マクロミル社外監査役<br>㈱アイスタイル社外監査役        |
| 監 査 役     | 橋 岡 宏 成                   | 弁護士<br>㈱ゴルフダイジェスト・オンライン社外取締役<br>㈱ユナイテッドアローズ社外監査役<br>㈱イー・ピーカンパニー社外監査役 |

- (注) 1. 監査役 都 賢治氏及び監査役 橋岡 宏成氏は社外監査役であります。
2. 当社は、監査役 都 賢治氏及び監査役 橋岡 宏成氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、届け出ております。
3. 常勤監査役 三浦 玲奈氏は、経理・財務部門で長年の実務経験があり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
4. 監査役 都 賢治氏は、税理士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
5. 取締役 岡本 伊久男氏は、代表取締役社長 経沢 香保子氏の配偶者であります。
6. 当事業年度中に退任した取締役は次のとおりであります。

| 氏 名                     | 退 任 日      | 退 任 事 由 | 退任時の地位・担当及び重要な兼職の状況                         |
|-------------------------|------------|---------|---------------------------------------------|
| 高 村 彰 典                 | 平成24年6月24日 | 任期満了    | 社外取締役<br>㈱サイバー・バズ代表取締役社長<br>㈱サイバーエージェント執行役員 |
| 黒 川 涼 子<br>(戸籍名：佐々井 涼子) | 平成24年6月30日 | 辞任      | 取締役キレナビグループ担当                               |

7. 取締役 黒川 涼子（戸籍名：佐々井 涼子）氏は、平成24年7月1日付で当社執行役員に就任いたしました。

8. 平成25年4月1日付で、取締役の担当を次のとおり変更しております。

| 氏名     | 変更前              | 変更後               |
|--------|------------------|-------------------|
| 岡本 伊久男 | 取締役クリエイティブグループ担当 | 取締役ソリューションDiv. 担当 |
| 松本 洋介  | 取締役ソリューショングループ担当 | 取締役ソリューションDiv. 担当 |
| 郭 翔 愛  | 取締役経営管理グループ担当    | 取締役コーポレートDiv. 担当  |
| 影山 由美子 | 取締役WEB開発セクション担当  | 取締役クリエイティブDiv. 担当 |

## (2) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等の額

|                  | 人数         | 報酬等の総額                 |
|------------------|------------|------------------------|
| 取締役              | 6名         | 97,375千円               |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 3名<br>(2名) | 6,000千円<br>(2,400千円)   |
| 合計<br>(うち社外役員)   | 9名<br>(2名) | 103,375千円<br>(2,400千円) |

- (注) 1. 取締役の支給額には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。  
 2. 上記の取締役の支給人員には、当事業年度中に退任した取締役1名が含まれており、当事業年度中に退任した社外取締役1名は無報酬のため含まれておりません。  
 2. 取締役の報酬限度額は、平成18年2月8日開催の臨時株主総会において年額200,000千円以内と定められております。  
 3. 監査役の報酬限度額は、平成18年2月8日開催の臨時株主総会において年額30,000千円以内と定められております。

## (3) 社外役員に関する事項

- ① 他の法人等の業務執行取締役等の兼職状況及び当社と当該他の法人等との関係  
 監査役 都 賢治氏は、(株)アルタスの代表取締役及び(株)グロービスの取締役であります。なお、当社と(株)アルタス及び(株)グロービスとの間に特別の利害関係はありません。
- ② 他の法人等の社外役員等の兼任状況及び当社と当該他の法人等との関係  
 監査役 都 賢治氏は、(株)マクロミル及び(株)アイスタイルの社外監査役であります。当社と(株)マクロミルとはWeb調査、(株)アイスタイルとは広告出稿取引があります。  
 監査役 橋岡 宏成氏は、(株)ゴルフダイジェスト・オンラインの社外取締役であり、また(株)ユナイテッドアローズ及び(株)エー・ピーカンパニーの社外監査役であります。当社と(株)ゴルフダイジェスト・オンライン、(株)ユナイテッドアローズ及び(株)エー・ピーカンパニーとの間に特別の利害関係はありません。

③ 当事業年度における主な活動状況

監査役 都 賢治氏は、当事業年度に開催された取締役会18回のうち18回、監査役会13回のうち13回に出席し、主に税理士としての専門的見地から意見を述べるなど、取締役会及び監査役会における議案審議等に必要な発言を適宜行っております。

監査役 橋岡 宏成氏は、当事業年度に開催された取締役会18回のうち18回、監査役会13回のうち12回に出席し、主に弁護士としての専門的見地から意見を述べるなど、取締役会及び監査役会における議案審議等に必要発言を適宜行っております。

④ 責任限定契約の内容の概要

当社は社外監査役との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令が規定する最低責任限度額であります。

## 5. 会計監査人の状況

### (1) 会計監査人の名称

有限責任監査法人トーマツ

### (2) 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額

|                           |          |
|---------------------------|----------|
| 当社の当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額 | 15,500千円 |
| 当社が支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額  | 16,500千円 |

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

### (3) 非監査業務の内容

当社は会計監査人に対して、公認会計士法第2条第1項の業務以外の業務である、コンフォートレター作成業務の対価を支払っております。

### (4) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

取締役会は、会計監査人の職務の執行に支障がある場合等、その必要があると判断した場合は、監査役会の同意を得たうえで、又は、監査役会の請求に基づいて、会計監査人の解任又は不再任を株主総会の会議の目的とすることといたします。

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会におきまして、会計監査人を解任した旨と解任の理由を報告いたします。

## 6. 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他業務の適正を確保するための体制

取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制、その他会社の業務の適正を確保するための体制についての決定内容の概要は、以下のとおりであります。

### ① 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する事項

株主総会議事録、取締役会議事録等の法定文書のほか、重要な職務執行に係る情報が記録された文書及び電磁的記録については、文書管理規程、個人情報保護規程等の社内規程に従い、適切に保存及び管理します。

### ② 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

経営管理グループは、法令遵守やリスク管理についての徹底と指導を行います。また、代表取締役社長直轄の組織として内部監査室を設置し、組織横断的なリスクの状況把握、監視を行い、取締役会に対してリスク管理に関する事項を報告します。

取締役会又は経営会議にて、業務執行取締役その他の業務執行責任者から、業務執行に関する報告を適時に行います。

### ③ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

#### (ア) 各種社内会議体制の整備

取締役会は、毎月開催される定時取締役会のほか、必要に応じて臨時取締役会を速やかかつ柔軟に開催し、経営に関わる重要事項に関して迅速に意思決定を行い、職務執行を監督します。

取締役会のほか、取締役及び常勤監査役等からなる経営会議を原則として毎週開催し、業務執行、営業戦略等に関わる重要事項に関して慎重かつ多角的に検討、審議し、意思決定を行います。

#### (イ) 職務権限・責任の明確化

職務権限規程、業務分掌規程、稟議規程、稟議事項・決議決裁基準に基づき、適切に権限の委譲を行い、付与された権限に基づき適正かつ効率的な職務の執行が行われる体制を構築します。

- ④ 取締役及び使用人の職務の執行が法令・定款に適合することを確保するための体制  
取締役及び使用人の職務執行のモニタリングを内部監査室が行い、必要に応じて経営管理グループと連携して社内教育、研修を実施します。また、内部監査室は、内部監査規程に基づく内部通報制度を厳正に運用するとともに、監査役会と連携し、取締役及び使用人の職務の執行に関する状況把握、監査を定期的に行い、取締役会に報告します。
- ⑤ 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項  
監査役会は、内部監査室所属の使用人に、監査業務に必要な補助を依頼することができます。
- ⑥ 前項の使用人の取締役からの独立性に関する事項  
補助者の人事異動につき、監査役会の意見を尊重するものとしております。
- ⑦ 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する事項  
取締役、経営管理グループ及び内部監査室は、以下の重要事項を定期的に常勤監査役に報告するものとし、監査役会において、当該報告を提出します。
- 1) 重要な機関決定事項
  - 2) 経営状況のうち重要な事項
  - 3) 会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事項
  - 4) 内部監査状況及びリスク管理に関する重要事項
  - 5) 重大な法令・定款違反
  - 6) その他、重要事項
- ⑧ その他監査役への監査が実効的に行われることを確保するための体制  
監査役会は業務執行取締役及び重要な使用人に対してヒアリングを実施することができるとともに、代表取締役社長、会計監査人、顧問弁護士と意見交換等を実施します。

---

(注) 本事業報告の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

# 貸借対照表

(平成25年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目      | 金 額       | 科 目      | 金 額       |
|----------|-----------|----------|-----------|
| (資産の部)   |           | (負債の部)   |           |
| 流動資産     | 1,640,431 | 流動負債     | 291,923   |
| 現金及び預金   | 1,234,192 | 買掛金      | 80,390    |
| 受取手形     | 4,321     | 未払金      | 18,579    |
| 売掛金      | 375,402   | 未払費用     | 54,719    |
| 商品       | 69        | 前受金      | 4,174     |
| 仕掛品      | 6,853     | 未払消費税等   | 19,473    |
| 貯蔵品      | 468       | 預り金      | 18,597    |
| 前払費用     | 7,878     | 未払法人税等   | 90,819    |
| 繰延税金資産   | 10,973    | ポイント引当金  | 5,169     |
| その他      | 2,344     |          |           |
| 貸倒引当金    | △2,072    | 固定負債     | 15,708    |
| 固定資産     | 130,882   | 資産除去債務   | 15,708    |
| 有形固定資産   | 25,277    |          |           |
| 建物       | 49,563    | 負債合計     | 307,632   |
| 減価償却累計額  | △29,188   | (純資産の部)  |           |
| 工具器具備品   | 18,280    | 株主資本     | 1,463,681 |
| 減価償却累計額  | △13,378   | 資本金      | 512,710   |
| 無形固定資産   | 49,557    | 資本剰余金    | 491,710   |
| のれん      | 15,294    | 資本準備金    | 491,710   |
| ソフトウェア   | 34,214    | 利益剰余金    | 459,261   |
| その他      | 47        | その他利益剰余金 | 459,261   |
| 投資その他の資産 | 56,048    | 繰越利益剰余金  | 459,261   |
| 敷金       | 47,499    |          |           |
| 繰延税金資産   | 8,548     | 純資産合計    | 1,463,681 |
| 資産合計     | 1,771,313 | 負債・純資産合計 | 1,771,313 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

(平成24年4月1日から)  
(平成25年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目                     | 金 額     |           |
|-------------------------|---------|-----------|
| 売 上 高                   |         | 1,616,490 |
| 売 上 原 価                 |         | 672,974   |
| 売 上 総 利 益               |         | 943,516   |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費     |         | 539,370   |
| 営 業 利 益                 |         | 404,146   |
| 営 業 外 収 益               |         |           |
| 受 取 利 息                 | 0       |           |
| そ の 他                   | 594     | 595       |
| 営 業 外 費 用               |         |           |
| 支 払 利 息                 | 895     |           |
| 上 場 関 連 費 用             | 8,347   | 9,243     |
| 経 常 利 益                 |         | 395,498   |
| 税 引 前 当 期 純 利 益         |         | 395,498   |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 | 150,482 |           |
| 法 人 税 等 調 整 額           | △3,932  | 146,550   |
| 当 期 純 利 益               |         | 248,948   |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。



## 株主資本等変動計算書

(平成24年4月1日から  
平成25年3月31日まで)

(単位：千円)

|              | 株 主 資 本 |           |         |
|--------------|---------|-----------|---------|
|              | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 |         |
|              |         | 資本準備金     | 資本剰余金合計 |
| 平成24年4月1日残高  | 196,000 | 175,000   | 175,000 |
| 事業年度中の変動額    |         |           |         |
| 新株の発行        | 316,710 | 316,710   | 316,710 |
| 当期純利益        |         |           |         |
| 事業年度中の変動額合計  | 316,710 | 316,710   | 316,710 |
| 平成25年3月31日残高 | 512,710 | 491,710   | 491,710 |

|              | 株 主 資 本   |         |           | 純資産合計     |
|--------------|-----------|---------|-----------|-----------|
|              | 利 益 剰 余 金 |         | 株主資本合計    |           |
|              | その他利益剰余金  | 利益剰余金合計 |           |           |
|              | 繰越利益剰余金   |         |           |           |
| 平成24年4月1日残高  | 210,313   | 210,313 | 581,313   | 581,313   |
| 事業年度中の変動額    |           |         |           |           |
| 新株の発行        |           |         | 633,420   | 633,420   |
| 当期純利益        | 248,948   | 248,948 | 248,948   | 248,948   |
| 事業年度中の変動額合計  | 248,948   | 248,948 | 882,368   | 882,368   |
| 平成25年3月31日残高 | 459,261   | 459,261 | 1,463,681 | 1,463,681 |

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別注記表

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品 …………… 移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

仕掛品 …………… 個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

貯蔵品 …………… 最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

### (2) 固定資産の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産

定率法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物 6～18年

工具器具備品 4～15年

#### ② 無形固定資産

定額法

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

のれんについては、投資効果の及ぶ期間（5年間）にわたり定額法により償却しております。

### (3) 引当金の計上基準

貸倒引当金 …………… 債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しています。

ポイント引当金 …………… 顧客に付与したポイントの利用に備えるため、当期末において将来利用されると見込まれる額を算定しております。

### (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

### (5) 会計方針の変更

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

当社は、法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当事業年度の損益に与える影響は軽微であります。

## 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

### (1) 発行済株式の種類及び総数

| 株式の種類 | 発行済株式の数(株) |
|-------|------------|
| 普通株式  | 3,315,000  |
| 合計    | 3,315,000  |

| 株式の種類 | 当事業年度期首 | 当期増加       | 当期減少 | 当事業年度末     |
|-------|---------|------------|------|------------|
| 普通株式  | 4,625株  | 3,310,375株 | 一株   | 3,315,000株 |

- (注) 1. 当社は、平成24年6月15日付で当社の普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。また、平成25年1月1日付で当社の普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
2. 発行済株式の総数の増加は、株式分割により3,040,375株、公募増資により270,000株を発行したことによるものであります。

- (2) 当事業年度末日における新株予約権の目的となる株式の種類及び株式数  
普通株式13,200株

## 3. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

### 繰延税金資産

#### 流動資産

|         |          |
|---------|----------|
| 未払事業税   | 8,188千円  |
| ポイント引当金 | 1,964千円  |
| 貸倒引当金   | 624千円    |
| 未払家賃    | 195千円    |
| 計       | 10,973千円 |

#### 固定資産

|        |          |
|--------|----------|
| 資産調整勘定 | 5,620千円  |
| 資産除去債務 | 5,598千円  |
| 計      | 11,219千円 |

繰延税金資産合計 22,193千円

### 繰延税金負債

資産除去債務に対応する除去費用 2,671千円

繰延税金負債合計 2,671千円

繰延税金資産の純額 19,522千円

#### 4. 金融商品に関する注記

##### (1) 金融商品の状況に関する事項

###### ① 金融商品に対する取組方針

当社は、資金調達については、自己資金を充当しており、資金運用については、安全性の高い金融資産に限定し運用する方針であります。また、デリバティブ取引に関しては行わない方針であります。

###### ② 金融商品の内容及び当該金融商品に係るリスク

営業債権である受取手形及び売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。

賃借物件に係る敷金は、差入先の信用リスクに晒されております。

営業債務である買掛金、未払金、未払費用、未払法人税等、未払消費税等、預り金は、すべて1年以内の支払期日であります。

###### ③ 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、与信管理規程に従い、営業債権について、経営管理グループが主要な取引先の状況を定期的にモニタリングし、取引相手ごとに期日管理及び残高管理を行うとともに、財務状況等の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。また、敷金については、定期的に相手先の状況をモニタリングしております。

資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は各事業部からの報告に基づき経営管理グループが適時に資金繰計画を作成・更新するとともに、手許流動性の維持などにより流動性リスクを管理しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成25年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

|          | 貸借対照表計上額    | 時価          | 差額       |
|----------|-------------|-------------|----------|
| ① 現金及び預金 | 1,234,192千円 | 1,234,192千円 | —        |
| ② 受取手形   | 4,321千円     | —           | —        |
| ③ 売掛金    | 375,402千円   | —           | —        |
| 貸倒引当金(※) | △2,072千円    | —           | —        |
|          | 377,650千円   | 377,650千円   | —        |
| ④ 敷金     | 47,499千円    | 43,138千円    | △4,360千円 |
| 資産計      | 1,659,343千円 | 1,654,982千円 | △4,360千円 |
| ① 買掛金    | 80,390千円    | 80,390千円    | —        |
| ② 未払金    | 18,579千円    | 18,579千円    | —        |
| ③ 未払費用   | 54,719千円    | 54,719千円    | —        |
| ④ 未払法人税等 | 90,819千円    | 90,819千円    | —        |
| ⑤ 未払消費税等 | 19,473千円    | 19,473千円    | —        |
| ⑥ 預り金    | 18,597千円    | 18,597千円    | —        |
| 負債計      | 282,579千円   | 282,579千円   | —        |

(※)受取手形及び売掛金に対応する貸倒引当金を控除しております。

(注) 金融商品の時価の算定方法

資産

①現金及び預金、②受取手形、③売掛金

これらはすべて短期で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

④敷金

敷金の時価については、将来キャッシュ・フローを国債の利回り等適切な指標に基づく利率で割り引いた現在価値により算出しております。

負債

①買掛金、②未払金、③未払費用、④未払法人税等、⑤未払消費税等、⑥預り金

これらはすべて短期で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

## 5. 関連当事者との取引に関する注記

記載すべき重要な取引はありません。

## 6. 1株当たり情報に関する注記

(1) 1株当たりの純資産額 441円53銭

(2) 1株当たりの当期純利益 82円46銭

(注) 1株当たりの純資産額及び1株当たりの当期純利益は、当事業年度に行いました株式の分割が当事業年度の期首に行われたと仮定してそれぞれ算定しております。

## 計算書類に係る会計監査報告

### 独立監査人の監査報告書

平成25年5月14日

トレンダーズ株式会社

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 吉 村 孝 郎 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 山 本 恭仁子 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、トレンダーズ株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第13期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

#### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上



## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第13期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査室その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。また、事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。事業報告に記載されている会社法施行規則第118条第3号イの基本方針及び同号ロの各取組みについては、取締役会その他における審議の状況等を踏まえ、その内容について検討を加えました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

有限責任監査法人トーマツの監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成25年5月23日

|                 |      |
|-----------------|------|
| トレンダーズ株式会社      | 監査役会 |
| 監査役(常勤) 三 浦 玲 奈 | ㊟    |
| 監査役 都 賢 治       | ㊟    |
| 監査役 橋 岡 宏 成     | ㊟    |

(注) 監査役都賢治及び監査役橋岡宏成は、社外監査役であります。

以 上

## 株主総会参考書類

### 議案 取締役5名選任の件

取締役全員（5名）は、本株主総会終結の時をもって任期満了となりますので、取締役5名の選任をお願いいたしたいと存じます。

取締役候補者は次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                                          | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 所有する当社の株式の数 |
|-------|-------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 1     | つね ぎわ かほ こ<br>経 沢 香保子<br>(戸籍名：岡本 香保子)<br>(昭和48年4月23日) | 平成9年4月 株式会社リクルート入社<br>平成10年8月 エイ・ワイ・エー・ネットワーク株式会社入社<br>平成11年9月 楽天株式会社入社<br>平成12年4月 当社設立 代表取締役社長就任<br>(現任)                                                                                                                                                                                                             | 907,000株    |
| 2     | おか もと いく お<br>岡 本 伊久男<br>(昭和45年1月28日)                 | 平成9年10月 株式会社シーアイエー入社<br>平成12年7月 株式会社マクロミル入社、執行役員就任<br>平成13年4月 同社取締役就任<br>平成15年9月 同社取締役CFO就任<br>平成19年5月 当社顧問就任<br>平成20年10月 株式会社メディアフラッグ非常勤監査役就任<br>平成21年9月 株式会社マクロミル常勤監査役就任<br>平成22年6月 当社監査役就任<br>平成23年3月 当社社外取締役就任<br>平成23年10月 当社取締役事業企画グループ担当就任<br>平成24年2月 当社取締役クリエイティブグループ担当就任<br>平成25年4月 当社取締役ソリューションDiv.担当就任 (現任) | 670,600株    |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)                            | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                        | 所有する当社の株式の数 |
|-------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 3     | かく 郭 さん 翔 愛<br>(昭和53年7月29日)             | 平成14年4月 三井物産株式会社入社<br>平成19年6月 当社入社<br>平成19年10月 当社クリエイティブグループゼネラルマネージャー就任<br>平成22年6月 当社取締役経営管理グループ担当就任<br>平成25年4月 当社取締役コーポレートDiv. 担当就任(現任)                                                                                                                                 | 48,000株     |
| 4     | かげ やま ゆ み こ<br>影 山 由 美 子<br>(昭和46年8月1日) | 平成6年11月 株式会社大阪有線放送社(現株式会社USEN)入社<br>平成9年11月 WEBプランナー兼デザイナーとして独立<br>平成17年1月 有限会社クラリティ・アソシエイツ設立 代表取締役就任<br>平成19年2月 株式会社クラリティ・アソシエイツに組織変更 代表取締役就任<br>平成24年3月 当社入社 クリエイティブグループWEB開発セクション執行役員就任<br>平成24年3月 当社取締役クリエイティブグループWEB開発セクション担当就任<br>平成25年4月 当社取締役クリエイティブDiv. 担当就任(現任) | 12,000株     |

| 候補者<br>番号 | 氏名<br>(生年月日)                   | 略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 所有する当社の株式の数 |
|-----------|--------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| ※5        | なつ夏のたけし<br>夏野剛<br>(昭和40年3月17日) | 昭和63年4月 東京ガス株式会社入社<br>平成8年6月 株式会社ハイパーネット取締役副社長就任<br>平成9年9月 エヌ・ティ・ティ移動通信網株式会社(現 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ)入社<br>平成13年7月 同社iモード企画部長就任<br>平成17年6月 同社執行役員マルチメディアサービス部長就任<br>平成20年5月 慶應義塾大学政策・メディア研究科特別招聘教授就任<br>平成20年6月 セガサミーホールディングス株式会社社外取締役就任(現任)<br>ぴあ株式会社取締役就任(現任)<br>トランスコスモス株式会社社外取締役就任(現任)<br>SBIホールディングス株式会社社外取締役<br>平成20年12月 株式会社ドワンゴ取締役就任(現任)<br>平成21年9月 グリー株式会社社外取締役就任(現任)<br>平成25年4月 慶應義塾大学政策・メディア研究科客員教授就任(現任) | 0株          |

- (注) 1. ※印は、新任取締役候補者であります。
2. 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。
3. 夏野 剛氏は、社外取締役候補者であります。
4. 夏野 剛氏を社外取締役候補者とした理由は、通信・インターネット業界における豊富な経験と幅広い見識を当社の経営全般に反映していただくためであります。
5. 社外取締役候補者である夏野 剛氏につきましては、選任が承認された場合、当社との間で、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結する予定であります。当該契約に基づく損害賠償責任の限定額は、法令が定める額とする予定であります。
6. 社外取締役候補者である夏野 剛氏につきましては、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、同氏が取締役に選任された場合、当社は同氏を独立役員として同取引所に届け出る予定であります。

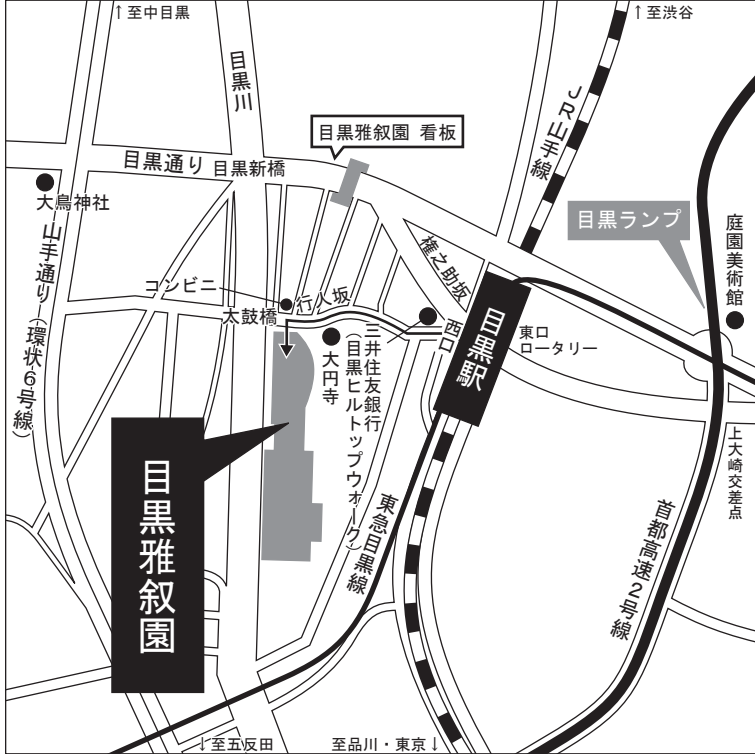
以上

メ モ

A series of 20 horizontal dashed lines for writing.

# 株主総会会場ご案内図

会 場 東京都目黒区下目黒一丁目8番1号  
目黒雅叙園 4階『孔雀』  
電話 (03) 3491-4111 (代表)



目黒駅（JR山手線西口、東急目黒線、地下鉄南北線・三田線）より  
行人坂を下って徒歩3分、権之助坂を下って徒歩5分  
（目黒雅叙園正面入口より会場までは少々距離がございます。）